Ⅱ の第 4 の 1 茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進のうち茶の改植等支援に係る様式集

			作成主体			
作成書類名	様式名	生産者	茶生産者 グループ	事業実施 主体	提出又は通知先	時期
茶生産者グループ別事業実施(変更)計画一覧表 ※別記様式1号に添付する。 (添付資料) ・茶生産者グループ別事業実施(変更)計画書 (別記様式2号-3及び別記様式2号-3-1)) ・次年度に事業実施する場合の茶生産者グループ別事業計画 (別記様式2号-3-2) ・事業実施主体の規約(又は定款)及び推進体制の分かる資料	別記様式 2 号一 1			0	国(地方農政局等)	公募申請時
品質向上(変更)戦略	別記様式 2 号 - 2			0	国(地方農政局等)	公募申請時
茶生産者グループ別事業実施(変更)計画書 (添付資料) ・別記様式2号-3-1 ・(必要がある場合は)別記様式2号-3-2 ※別記様式2号-3-2により申請した内容に変更がある場合には、変更箇所を 2段書にした上で、別記様式2号-3-2(1)と併せて、地方農政局長宛て に提出する	別記様式 2 号 - 3		0		茶生産者グループ →事業実施主体 →国(地方農政局等)	公募申請時
生産者別改植等事業実施(変更)計画書	別記様式 2 号一 4	0			生産者 →茶生産者グループ →事業実施主体	公募申請時

#### 茶生産者グループ別事業実施(変更)計画一覧表

			卡収益								実施面積(m	) <b>7</b>											補助金	(円)=ア×単	面(円/㎡)											実質化さ
茶生産者グ ループ	家数	の 動画積 (m) が が が だ (1 (1 (1	(注2 イ)から 項目選	改植(㎡) に伴う未収 益支援①	積計	改植(㎡) に伴う未収 益支援(2)	棚施設を利 用した栽培 法への転換 に伴う未収 益支援 (㎡)	台切りに伴う 未収益支援 (㎡)	改植支援(㎡)	なる品種を 改植する面 積計	新植支援 (㎡)	茶園整理① (㎡)	茶園整理(2) (m))	棚施設を利 用した栽培 法への転換 に必要な資 材の導入 (㎡)	直接被覆栽 培への転換 に必要な資 の転換 材の導入 (㎡)	・ 輸出向け栽 培体系への 転換 (㎡)	合計 (m)	改植(㎡) に伴う未収益 支援①	改植(m) に伴う未収益 支援(2)	棚施設を利用した栽培 法への転担 に伴う未収 支援	ロリットコープ	改植支援	新植支援	茶園整理①	茶園整理②	棚施設を利 用した栽培 法への転換 に必要な資 材の導入	近への転換	有機栽培への転換	輸出向け栽 培体系への 転換	合計 (円)	除税額 (円)	計 (円)	年度内 事業実施 の確実性 注3	友援対象 面積の 事前精査 注4	農地中間管理機構	
			択)		(m)					(m)								【単価141円/㎡	] 【単価181円/ml	] 【単価40円/m	] [単価70円/㎡]	【単価152円/ml	i] [単価120円/mi	[単価50円/㎡]	[単価80円/㎡]	【単価100円/ml	] [単価100円/㎡]	【単価100円/1	mi] 【単価50円/mi]							/±0
																		0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
																		0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
																	1	0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
																	1	0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
																	-	0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
																	1	0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
																	-	0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
																		0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
																		0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
																		0 0	0	)	0 0		0 (		0	(	0		0 0	0		0				
81	0	0		0	0	0	0	0		0 (		0	0	0	0	0		0	0	)	0 0	(	0 0	(	0	(	0		0 0	0	0	0	0	0	0	0
(7) (4) 12 33 4 5 4 1 2 1 0 5	40次輪新生機国度接生過農物アの出た産機国度接属国度接差地中間ににコ化内内対者の基間の対者の基間の対象を表地中間の対象を表現の対象を対象が、	上又は日本 上又は 上又 は 上し に に が に が に に に が に に に が に に で に に で に で の で の で の で の で の で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	植ら2度に を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	面積の1年の 前目の が は は は は は は は は は に の を に の に に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	以上に、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	い簡U実な、酵生以測等等いて解との取りでは、 要決に取りでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 では、 のでは、 ので	品けた満足を せって料の配を 大一で料の面を やい 加が当をかの面を はって おいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	植行き 版 取対数に対する に 取対数に対する に 取対数に対する に 取対を の者 記又接に 明 は の者 記又接に 間 に 対して は で に し が で が し が が い が い か が い か が い か が い か が い か が い か が か が	業栽培等の原 導入 近日の範囲では はない事業に でするない事業に でするない事業に	取組の実施 で実施が確す はする方法に 事前精査して より支援対象	と確認でき より支援対 いる場合。 軟者への貸	象面積を事育	と記載し、そう 介精査してい Eに見込まれ	れ以外には る場合。 る茶園にお	×を記載する。 いて茶の改植等を実施	する取組が行	行われる場	も合に○を記.	入する。																	

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進のうち茶の改植等

GFPコミュニティ サイトへの登録

有 • 無

# 品質向上(変更)戦略

|--|

計画区域名: (所在する都道府県・市町村名)

事業実施主体名:

1	地域の農業生	達の概要					
2	地域の茶業生	産の現状と課題					
Γ			現状(年)		1		
-	栽培農家戸数	栽培面積	荒茶生産量	生産額			
H	戸	ha	t	千円	<b>箇所</b>		
L							
3	地域で生産す	る茶の需要の見込み					
4	地域の茶業の	展開方向					

# 5 地域における改植等の実施時期

改植	~
新植	~
棚施設を利用した栽培法への転換	~
台切り	~
茶園整理	~
てん茶生産に向けた直接被覆栽培への転換	~
有機栽培への転換	~
輸出向け栽培体系への転換	~

6	関係団体	・機関間の連携体制			
i					

7	<b>7</b> その他必要な事項			

### (参考) 地域における改植等の進捗状況と長期計画

事業実施主体の産地における茶園の状況別面積と将来計画

区分	現状	3 年後	備考
地区全域の茶園面積			
うち 樹齢30年以上			
樹齢30年未満25年以上			
樹齢25年未満20年以上			
樹齢20年未満10年以上			
樹齢10年未満			
うち 有機栽培認証取得茶園			
うち 棚栽培実施茶園			
うち てん茶生産茶園			
うち 発酵茶・半発酵茶等生産茶 園			

- 注1 事業実施主体が把握している範囲内で数値を記入すること。 2 集計がない、又は集計できない場合には備考欄にその旨を記載すること。また、部分的に把握できている場合は、その数値を 記入し、部分的に把握している数値である旨を備考欄に明記すること。

番 号 年 月 日

○○○○ (事業実施主体名) の長 殿

所 在 地 茶生産者グループ名 代表者氏名

令和 年度茶生産者グループ別事業実施(変更)計画書の提出について

本要領のIIの第4の1(4)r(7)((4)r(9))に基づき、関係書類を添えて提出する。

## (添付資料)

・茶生産者グループ別事業実施(変更)計画書(別記様式2号-3-1) (必要がある場合は別記様式2号-3-2)

#### 茶生産者グループ別事業実施(変更)計画書

			(A) 注 2	支援の対象と (本要領のII の (B) 改植に													上段:計画 下段:実施	面積(㎡) 面積(㎡)								(消	備 考 費税に関する 注5	5事項)		支援対象 面積の 事前精査 注6	農地中間 管理機構 との連携	実質化された人・ も も も も り も し い い い い い い い い い い い い い い い い い い
荒茶加工施設名 注1	生産者名	生産者番号	イ (ウ) 関係	a (a)		b (c) (d	(e)	合否)	茶園面積 (m)	改植に伴う未収益支援	うち現在栽培されている品種を担いるを を記れている。 を記している。 が表現である。 を記している。 はいる。 ではい。 ではいる。 では、 ではいる。 ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	改植に伴う未収益支援	棚施設を利用した栽培 法への転換 に伴う未収 益支援	台切りに伴 う未収益支 援	改植支援	うち現在栽培されている品種をといるを植するのでは、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	うち4月定植 予定茶園の 面積(㎡) (注4)	新植	茶園整理① 茶園型	棚施設を 用した栽 法への転 に必要な 材の導力	利 音 直接被覆 精 増 ・ を を を を を を を を を を を を を を を を を う で う で	有機栽培への転換	輸出向け栽培体系への転換	合計	補助金 (円) ア	消費税の有無	除税額 (円) イ	うち補助金 (円) ゥ (アーイ)	税の種類 「免税」、 「本則」、 「簡易」の いずれか を記入			金のルナヤ
																								0	0			0				
																								0	0			0		$\leftarrow$		
																								0	0			0				
																								0	0			0				
																								0	0			0				
				$/ \downarrow $																				0	0			0		$\overline{}$		
																								0	0			0			<del>  </del>	
																								0	0			0				
																								0	0			0		$\overline{}$		_
																								0	0			0				
																						1		0	0			0				
							+																	0	0			0				
				$\vee$																				0	0			0				
				/																				0	0			0				-
			1							C	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	0		0	0				$\nearrow$
ä†			0		//	/ /			0	C	0	0	0	0	(	0	0	0	0	0	0	0 (	0	0	0		0	0				$\overline{}$

- 注1:荒茶加工施設の構成員又は生業出荷農家の中で、補助金の交付を受けない生産者の人数を「生産者名」の欄に「その他〇名」と記入すること。 また、荒茶加工施設名ごとの「茶園面積」の欄には、当該荒茶加工施設の茶園面積、受益面積・記入すること。なお、当該茶園面積には、補助金の交付を受けない生産者の茶園面積も含めるものとする。 なお、記入した数値については、その根拠となる資料の提出を求められた場合、提出できるようにしておくこと。
- 2:「支援の対象となる生産者の状況の確認」の欄(A)については、「人・農地ブラン」等への位置づけを記入。(該当する場合「O」を付すこと)
- 2: 1 支援の対象となる生産者の状況の確認」の個(A)については、「小、農地ブランド等への位置づけを記入、(信当する場合「○を付すこと)
  a)については、茶生患者がループにおいて40アール以上文は改想来版面稿の1割以上について異なる品種への改善がある項目に「○を付すこと)
  a)については、茶生患者がループにおいて40アール以上文は改想来版面稿の1割以上について異なる品種への改権が行われていれば、(合計)の側に「○」を付すこと。
  なお、確認に当っては、(定格(何)に中方・水理 支援と)のの音が動物、40アール以上になっているが2は「水醤面積(行われていれば、(合計)の側に「○」を付すこと。
  b)については、次の(ふから(a)をつの写真はから2項目以上を選択し、課題解説に向けた取組を行うこと。(策) 40アール、無人機関報を受害に関した実施の対象は対象に向けた取組を行うこと。(策) 40アール、無人機関報を受害に関した実施の違立に受する実践はの設置
  (a) 20アールでは高に対する実践はの設置
  (d) 20アールでは高に対して30年の場合では近く20年の実施や出流域を表現した。(20アールの影響に対して30年の場合では10年の実施との実施・20年の場合では10年の実施といる数据とは、20アールの影響に対して30年の場合では10年の実施といる数据といる数据とは、20アールの影響に対して30年の場合では10年の表現を1
- 4・4月定植予定茶園の報告のある者については、当該4月定植予定茶園の面積を集計して合計値を記載する。なお、当該確認欄に面積が計上されている場合には、令和3年度持続的生産強化対策事業実施要綱別紙5のIIの第4の1(4)の 規定に基づき前年度に提出された「令和4年度に事業実施する場合の茶生産者グループ別事業計画」の写しを添付すること。

- 7:茶生産者グループの数に応じて、適宜上記の表を追加して記入する。なお、事業実施主体ごとに、各茶生産者グループの計画面積等を合計し、以下の2項目について要件を満たすか確認すること。

	項目	計画	異なる品種への転換	判定	実績	最終判定
支援対象面積の確認(全支援面積)	取組面積2000㎡以上	,			m'	
又族対象面積の確認(主义族面積)	茶園面積の1割以上	%			%	
改植に伴う未収益支援②の場合	異なる品種への改植実施面積4000㎡以上	m'	m²		m²	
以他に仕り木収量又抜るの場合	異なる品種への改植実施の合計が改植実施面積の1割以上	%			%	

# 次年度に事業実施する場合の茶生産者グループ別事業計画

						計画				実績	
					予定年	₹月日	計画面積(m²)		実施名	₹月日	実績面積(㎡)
荒茶加工施設名	生産者名	生産者番号	ほ場所在地	茶園面積(㎡)	作業開始日	作業 終了日	改植	事業実施主体による事前確認日	作業 開始日	作業 終了日	改植
計				0	0	0	0	0			0

- 注1 茶樹の定植が次年度の4月以降の場合記入すること。
  - 2 実績報告書提出時に、実績も記載したうえで添付して提出すること。
  - 3 別記様式2号-3-2(1)「令和〇年度に事業実施する場合の茶生産者グループ別事業計画変更届」を提出する場合には、本様式の変更部分について、変更前の記載内容 を()書き、変更後の記載内容を()書きの下段に二段書きして添付すること。

○○農政局長 殿

事業実施主体名所 在 地代表者氏名

令和○年度に事業実施する場合の茶生産者グループ別事業計画変更届

令和○年○月○日付け○○農産第○号により事業採択を受けた茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業実施計画書に添付した別記様式2号-3-2について、下記のとおり変更したいので、変更後の別記様式2号-3-2を付して提出する。

記

1 変更事由

2 変更箇所

#### 生産者別改植等事業実施(変更)計画書

** **	+4+	

氏名	茶生産者グループ名	課税事	課税事業	「人・農地プラン」等への位置づけ (該当する場合「〇」を付すこと)	「実質化された人・震地フラン」等への位置 づけ (該当する場合「〇」を付すこと)		
県•市町村名	茶園面積(m)		者の有無				

### 改植等実施年度 生産者番号

2. ほ場情報 (本事業で補助金の交付を受ける予定の全てのほ場について、必ず記入すること。)

			上段:計画面積(㎡) 下段:実施面積(㎡) 注1、2														実施前後の品種名 改植、新植(実施 後)、茶園整理(実施 前)のみ記入		農	農地中		
ほ場番号	ほ場所在地 (字地番) 注3	改植(㎡) に伴う未 収益支援 ①	うち培さる異種を を を を は を は を は を る を は が が が が が が が が が が が が が が が が が が	改植(㎡) に伴う未 収益支援 ②	棚施設を利用した栽培法への転換に伴う未援(㎡)	台切りに 伴う未収 益支援 (㎡)	改植支援 (㎡)	うち培いと異種を出植積が (㎡)	うち4月定 植予定茶 園 (注4) 該当する 場合に 「O」を記 入	新植(㎡)	茶園整理 ① (㎡)	茶園整理 ② (㎡)	棚施設を 利用した 栽培 転要 材の (㎡)	直接被覆 栽培への 転換に対 の必 の の (㎡)	有機栽培 への転換 (㎡)	輸出向け 栽培体系 への転換 (㎡)	合計 [m]	実施時期	実施前	実施後	年度内の 確実性 注5	農間機のの 注6
1																	C	)				
2																	C	)				
3																	0	)				
合計	型高徳の記るに <u>当たって</u> は 英園の付い時よ	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0					

- の 参加地に、(VECE 17 ) 7 に応じ、 17 に対しています。 2 の でいます。 2 の でいます。 2 の でいます。 2 の でいます。 3 の にいます。 4 「うち4月を増予定米園」の記入にいては、支援対象者が自己の責任の範囲で実施が確実と担保できる米園について〇を記載し、それ以外には、それ戦する。 3 の において米の改権等を実施する取組が行われる場合に〇を記入すること。 6 「農地中間管理機構との連携の有無」の確認機については、当該年度までに農地中間管理事業により支援対象者への貸し付けが確実に見込まれる米園において米の改権等を実施する取組が行われる場合に〇を記入する。

[本要領Ⅱ第4の1(2)イ(エ)の取組:未収益支援②に関する確認]

					取組	計画	取組実績								
ほ場 番号	(ア)				(-	イ)			(ア)	(1)					
世写		а	b	С	d	е	取組内容 (a~eに係る具体的な取組を記載)	実施時期		а	b	С	d	е	実施時期
合計															

- ※改植に伴う未収益支援ごの場合は、次の取組を行うこととし、該当欄に「〇」を付すこと。 (ア) 40アール以上又は改植実施面積の1割以上について異なる品種への改植を行うこと (イ) 次のあからまでの5頃目から2項目以一の選択し、課題解決に向けた知組を行うこと a ドローン、無人摘採機等を活用した先端労働力削減技術の実証ほの設置 b 新に1等入した品種の数値技術の確立にする5製証の設置 c 生産コストの低減に資する4場分析に基づく適正な膨肥の実施や点滴施肥技術の導入 d 機械化件業体系に資する各場の数円の銭ー化 e 国内マーケットの新規創出に向けた発酵茶・半発酵茶等の栽培・加工の取組の実施

# 4. 茶園整理に取り組む場合の確認事項

【平安市	(本安領の1の第4の1(1)の収益:米國空理に関する性能」														
		茶園整理後の土地利用計画													
ほ場 番号			取組	内容		酸度矯正 前の	転換後の	転換後の							
5	(ア)	(イ)	(ウ)	(ウ) の場合の具体的な取組		pH値	品目名	ほ場管理者の氏名							
					(イ)を選択し、										
					茶園整理②として 他品目転換のための										
					酸度矯正に取り組む										
					場合は右欄を記載										

※茶園整理の場合は、次の取組を行うこととし、該当欄に「O」を付し、(ウ)の場合は具体的な取組を記載すること。 (ア)担い手への集積 (イ)他品目への転換 (ウ)その他

5. 有機栽培への転換に取り組む場合の確認事項 [本別紙のIIの第4の1(1)クの取組:有機栽培への転換に関する確認]

C*T*///149	ジュンガージ 「(1) グルがは、円 水水に 「ジキは大に対する」に関する。									
ほ場 番号	取組計画 (転換に際して導入又は実践予定の栽培技術、管理手法、取組等)	取組実績 (転換に際して導入又は実践した栽培技術、管理手法、取組等)								

#### 6. 輸出向け栽培体系への転換に取り組む場合の確認事項

ほ場	低の II の第4の1(1)ケの取組:輸出向け栽培体系への転換に関す。 取組計画		取組実績					
番号	取組内容 (転換に際して導入又は実践予定の取組)	対応可能な 輸出先国・地域名	取組内容 (転換に際して導入又は実践した取組)	対応可能な 輸出先国・地域名				

# 7. 添付資料 • 事前確認資料

<sup>:1 「</sup>茶園面積(㎡)」の欄は、生産者が茶を栽培している面積(幼木園も含む。)の合計を記入すること。 2 「「実質化された人・農地ブラン」等への位置づけ」の欄は、実質化された人・農地ブラン等が策定されている又は工程表が公表され、中心経営体に位置付けられている場合に〇を記入すること。